

1. 件名：近畿大学原子力研究所の試験研究用等原子炉施設に関する設計及び工
事の計画の認可申請に係るヒアリング（4）

2. 日時：令和5年11月2日（木） 10:00～11:00

3. 場所：原子力規制庁10階会議卓A
※本面談は、テレビ会議システムで実施

4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、篠田試験炉係長、三好技術参与
近畿大学原子力研究所
教授 他3名

5. 要旨

○近畿大学から、令和5年7月26日付けで同大学から申請のあった、近畿大
学原子力研究所の試験研究用等原子炉施設に関する設計及び工事の計画の
認可申請（制御棒駆動機構の更新）について、配付資料に基づき、反応度添
加率に係る説明があった。

○原子力規制庁から、製造メーカーのデータを根拠として最大反応度添加率を
 $\pm 0.0054\% \Delta k/k/s$ （制御棒の全ストロークを170秒で駆動した場合）として
いる旨の説明があったことに対して、製造メーカーのデータのみではなく、
近畿大学として実施した評価結果あるいは実測値に基づき、最小の引抜き時
間においても核的制限値（ $\pm 0.006\% \Delta k/k/s$ 以下）を満足していることを
示すよう申し伝えた。

○近畿大学から、承知した旨の発言があった。

6. 配布資料

資料1 近畿大学原子炉施設設工認（制御棒駆動機構の更新）

資料2 近畿大学原子炉施設設工認（制御棒駆動機構の更新）コメントリスト